



福島県政150周年記念
新潟・福島豪雨災害から15年

会津塾



2026 in 金山
8/22 (土) 13:15～17:40

会場：開発センター 無料
(金山町役場となり)

<第1部> (13:30～15:00)

金山・奥会津に
住み続けたい
「いのち」と「生活」を守る
地域づくりを考える

冒頭：新潟・福島豪雨災害動画視聴



県立宮下病院科長
押部郁朗さま



金山町社協事務局長
加藤ゆきさま

コーディネーター(1部・2部とも)
高野武彦 (福島大学行政政策学類客員教授)

<第2部> (15:15～16:35)

映画と絵画から
世界に発信する
金山・奥会津の誇り



あいせき列車 只見線
監督井草葉子さま



色鉛筆画家
大竹恵子さま

◆ 交流会(16:50～17:40) 講師の皆さんを囲み自由に楽しくお話する「ひととき」のお時間
どなたでも参加できます

◆ 併催企画：大竹恵子色鉛筆画作品展
あいせき列車只見線パネル展
会津の県公式イメージポスター「来て。」集結
会津17市町村の観光パンフ勢ぞろい 県立博物館連携事業

申込
裏面

<後援> 福島県立博物館 金山町 金山町教育委員会 福島民報社 福島民友新聞社 福島テレビ
福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島 ラジオ福島 只見川電源流域振興協議会

福島県政 150 周年記念「会津塾 2026in 金山」プログラム

- 1 開 会 (13:15) 主催者挨拶 来賓祝辞
- 2 第 1 部 (13:30~15:00) <会場：3 階 大会議室>

金山・奥会津に住み続けたい 「いのち」と「生活」を守る地域づくりを考える

「新潟・福島豪雨災害」から15年、奥会津はあの災害を忘れない、只見線復活、そして地域振興。
冒頭に「新潟・福島豪雨災害」をまとめた動画を会場の皆さんと視聴して共に考えます。

<パネラー> 福島県立宮下病院 科 長 押部 郁朗 氏
金山町社会福祉協議会 事務局長 加藤 ゆき 氏

<コーディネーター> 高野武彦 (福島大学行政政策学類客員教授、
一般社団法人会津地域文化藝術フォーラム代表理事 等)

かつて10,000人を超えていた金山町の人口は今では約1,700人です。高齢化率は60.3%で県内1位です。高齢化の問題は深刻です。しかし、私たちは15年前の「新潟・豪雨災害」、新型コロナウイルス感染症の蔓延など大きな危機を乗り越えてきました。私たちは金山町をはじめ、この奥会津地域に住み続けたい。未来へつないでいきたい。私たちの胸には奥会津地域の「誇り」がある。「いのち」と「生活」を守りながら、「誇り」を胸に、次の世代も住み続けたいと思える「地域」にしていきたい。

特別企画

大竹恵子色鉛筆画作品展
あいせき列車只見線パネル展
会津の福島県公式イメージポスター「来て。」集結
会津17市町村の観光パンフ勢ぞろい
福島県立博物館連携事業 (小彼岸桜はちみつ 図録等)

- 3 第 2 部 (15:15~16:35) <会場：3 階 大会議室>

映画と絵画から世界に発信する「金山・奥会津」の誇り

<パネラー> (映像) あいせき列車只見線監督：井 草 葉 子 氏
(絵画) 色鉛筆画家：大 竹 恵 子 氏

<コーディネーター> 高野武彦 (福島大学行政政策学類客員教授、
一般社団法人会津地域文化藝術フォーラム代表理事 等)

映像や絵画という作品を通じて何を伝え、何を大切にしていきたいのか。パネラーのお二人とともに、「金山・奥会津」の魅力に迫ります。これまで私たちが培ってきた「誇り」をさらに磨き、県内外、世界に発信しながら、金山・奥会津に「住み続けていく」ために必要なことを探していきます。

- 4 交流会 (16:50~17:30)

講師の皆さんを囲んで、自由に楽しくお話しできる「ひととき」のお時間です。
どなたでも参加できます。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

申込方法



申込みは左記QRコードから WEB (<https://www.aizu-bungei.or.jp/20260822kaneyama/>) 入力
またはメール (info@aizu-bungei.or.jp) に以下の①~④を記載のうえお送りください。
①件名「会津塾参加申込」 ② 氏名 ③交流会参加の有無 ④ 連絡先